

5 緊急時通信連絡訓練

1 目的

緊急時の関係機関相互の通信連絡体制の確立と防災業務関係者の習熟を図る。

2 参加機関

内閣府，原子力規制委員会（川内原子力規制事務所），国土交通省（九州地方整備局，九州地方整備局鹿児島国道事務所，九州地方整備局川内川河川事務所，九州運輸局鹿児島運輸支局），九州管区警察局鹿児島県情報通信部，陸上自衛隊（西部方面システム通信群，西部方面航空隊，第12普通科連隊），海上自衛隊（佐世保地方総監部，第1航空群），航空自衛隊（西部航空方面隊司令部），自衛隊鹿児島地方協力本部，海上保安庁（第十管区海上保安本部，串木野海上保安部），鹿児島地方気象台，J R九州鹿児島支社，肥薩おれんじ鉄道株式会社，N T T西日本鹿児島支社，九州電力株式会社，済生会川内病院，長崎大学，鹿児島大学病院，鹿児島県無線漁業協同組合，川内市漁業協同組合，（公社）鹿児島県バス協会，（一社）鹿児島県タクシー協会，（公社）鹿児島県トラック協会，セイカ・ユナイテッドグループ，（公財）鹿児島県文化振興財団，報道機関，大分県，熊本県，宮崎県，薩摩川内市消防局，いちき串木野市消防本部，阿久根地区消防組合，鹿児島市消防局，出水市消防本部，日置市消防本部，始良市消防本部，さつま町消防本部，薩摩川内市消防団，いちき串木野市消防団，阿久根市消防団，鹿児島市消防団，出水市消防団，日置市消防団，始良市消防団，さつま町消防団，長島町消防団，鹿児島県警察本部（関係警察署を含む），鹿児島県教育委員会，薩摩川内市教育委員会，いちき串木野市教育委員会，阿久根市教育委員会，鹿児島市教育委員会，出水市教育委員会，日置市教育委員会，始良市教育委員会，さつま町教育委員会，長島町教育委員会，薩摩川内市，いちき串木野市，阿久根市，鹿児島市，出水市，日置市，始良市，さつま町，長島町，枕崎市，指宿市，垂水市，曾於市，霧島市，南さつま市，南九州市，伊佐市，湧水町，熊本県水俣市，熊本県芦北町，熊本県津奈木町，その他県内全市町村，鹿児島県

3 訓練内容

川内原子力発電所の事故に対し，防災関係機関が連携を図り，迅速かつ的確な応急対策を実施するために，関係機関相互の通信連絡訓練を行う。

通報には，専用回線，災害優先回線，一般回線，防災行政無線，電子メール，F A X等を使用する。

九州電力（株）川内原子力発電所は，プラントの事象進展，被害状況等を把握し，警戒事態該当事象，原災法第10条事象，原災法第15条事象等の通報連絡文の作成を実施するとともに，社内外関係機関へのF A X等による一斉送信，着信確認等を行う。

関係機関の防護対策活動及び住民の避難状況等を陸上自衛隊，県警察，県消防・防災ヘリコプターによるヘリコプター映像伝送システム，海上保安本部及び九州地方整備局の光ファイバーネットワーク，九州管区警察局鹿児島県情報通信部のモバイル伝送，薩摩川内市消防局のドローン等を活用し，県災害対策本部及びオフサイトセンター等へ映像を伝送する。

6 緊急時モニタリング訓練

1 目的

川内原子力発電所の緊急時における「緊急時モニタリング」について、関係職員の配備、緊急時モニタリング実施計画の策定、関係機関との情報連絡及び測定技術等の習熟を図るため訓練を実施する。

訓練では、モニタリングステーション、モニタリングポストでの空間放射線量率等の連続測定に加えて、可搬型モニタリングポスト等による空間放射線量率の測定、大気モニタ等による環境試料採取及び放射能測定を実施する。

2 参加機関

川内原子力規制事務所、海上保安庁、九州電力株式会社、荒木商事株式会社、若松石油株式会社、薩摩川内市、いちき串木野市、鹿児島県

3 訓練内容等

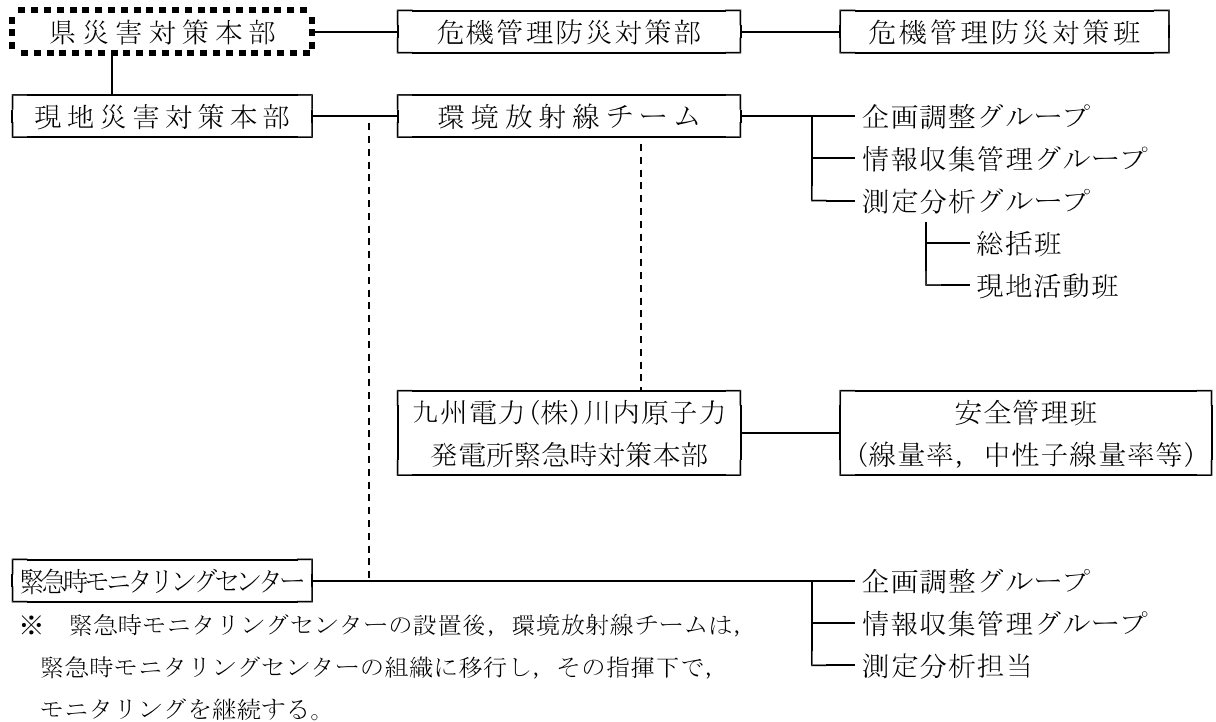
(1) 実施項目

- ア 空間放射線量率の監視強化
- イ 緊急時モニタリング実施計画の策定（モニタリング範囲、地点等の決定）
- ウ 大気中の放射性物質濃度の測定
- エ 環境試料の採取
- オ モニタリング結果の確認、報告
- カ モニタリング要員の被ばく管理・汚染検査
- キ O I Lに基づく防護措置判断の材料（モニタリング結果）の提供等に係る手順の確認
緊急時モニタリングセンターを拠点としたモニタリングの統括、現地放射線班等関係機関との連携、緊急時モニタリング結果の情報共有等を行う。
- ク モニタリングポストへの燃料供給訓練
商用電源が長期間供給されないことを想定し、モニタリングポストの非常用発電機に燃料を供給する。

(2) 測定項目

- ア テレメータによる監視強化
 - a モニタリングステーション、モニタリングポストによる線量率、風向、風速等の連続測定
 - b 大気モニタによる大気中の放射性物質濃度の測定
- イ 測定分析担当によるサーベイ
 - a 空間放射線量率の測定
 - ・ モニタリングカーによる線量率測定
 - ・ モニタリングポイントでの線量率測定（発電所近傍）
 - ・ モニタリングポイントでの中性子線量率測定（発電所近傍）
 - ・ 可搬型モニタリングポストによる線量率測定（2地点）
 - b 環境中の放射能の測定
 - ・ 大気中の放射性ヨウ素濃度の測定（ヨウ素サンプラで捕集後、回収測定（5地点））
 - ・ 環境試料の採取後、試料中の放射能測定（1地点）
 - ・ 海上保安庁巡視艇による環境試料採取（海上モニタリング）

(3) 訓練実施体制



(4) 使用機材

ア 車両・船舶等

- ・ 車両（環境放射線監視センター 5 台）
- ・ 船舶（海上保安庁巡視艇）

イ 測定機器等

- ・ モニタリングステーション，モニタリングポスト
- ・ モニタリングカー
- ・ 大気モニタ・ヨウ素サンプラ
- ・ 可搬型モニタリングポスト
- ・ サーベイメータ〔空間放射線量率測定用〕
- ・ サーベイメータ〔中性子測定用〕
- ・ サーベイメータ〔表面汚染検査用〕

7 避難退域時検査・原子力災害医療措置訓練

1 目的

川内原子力発電所の緊急時における避難退域時検査及び医療措置等について、関係団体及び職員の迅速かつ的確な医療活動の習熟を図るための訓練を実施する。

2 参加機関

陸上自衛隊，薩摩川内市消防局，九州電力株式会社，長崎大学，鹿児島大学病院，済生会川内病院，長崎医療センター，（公社）鹿児島県薬剤師会，（公社）鹿児島県診療放射線技師会，株式会社千代田テクノ，（公社）鹿児島県トラック協会，薩摩川内市，いちき串木野市，阿久根市，鹿児島市，出水市，日置市，始良市，さつま町，長島町，鹿児島県，鹿児島県警察本部（関係警察署を含む）

3 訓練内容等

（1）避難退域時検査

ア 訓練内容

30km圏付近に避難退域時検査場所を開設し，OILに基づく防護措置として，一時移転される車いす利用者を含む住民等の汚染状況を確認する。

また，原子力防災アプリ等を活用した受付，仮QRコードの発行・配布，避難退域時検査通過証の発行を実施する。

さらに，避難退域時検査資機材搬送訓練として，退域時検査に用いる資機材一式を，保管場所から検査場所まで搬送する。

（ア）避難退域時検査場所

- ・ 薩摩川内市，いちき串木野市，鹿児島市，日置市・・・日置市吹上中央公民館
- ・ 阿久根市，出水市，さつま町・・・出水市総合運動公園（ウイングドームいずみ）
- ・ 阿久根市，長島町・・・旧サンセット長島跡地広場

（イ）避難退域時検査実施訓練

a 検査責任者及び補佐

現地災害対策本部等と各チームとの連絡調整及び情報収集を行う。

b 車両指定箇所検査チーム

避難退域時検査場所において，避難住民が乗車する車両（バス，福祉タクシー，福祉車両，一般車両）に対し，車両用ゲート型モニタ等を用いて放射性物質の汚染検査を行う。

c 車両確認検査及び簡易除染チーム

表面汚染検査用の放射線測定器による車両の確認検査及び簡易除染後の簡易除染の効果の確認を行う。また，陸上自衛隊と連携し，車両の簡易除染を実施する。

d 住民指定箇所検査・確認検査チーム

- ・ 避難退域時検査場所において，乗車していた住民の代表者に対し，GMサーベイメータ等を用いて放射性物質の汚染検査を行う。
- ・ 代表者が被ばく（汚染）のおそれがある場合は，乗車していた住民全員に対し，GMサーベイメータ等を用いて放射性物質の汚染検査を行う。また，簡易除染の効果について，確認検査を行う。

- e 住民簡易除染チーム
 - ・ 被ばく（汚染）のおそれがある住民に対して、拭き取り等の簡易除染を行う。
 - ・ 簡易除染で基準値以下とならなかった場合、養生等の拡散防止処置を行う。
- f 陸上自衛隊
 - ・ 避難退域時検査場所において、車両の汚染検査の支援を実施する。
 - ・ 除染が必要な車両に対して、陸上自衛隊による車両除染を実施する。
- g 警察
 - ・ 避難退域時検査場所において、警戒警備を実施する。

(ウ) 避難退域時検査資機材搬送訓練

- a 実施場所
日置市吹上中央公民館
- b 資機材保管場所
鹿児島県防災研修センター
- c 搬送資機材
10ftコンテナ2基

※ 放射線測定器、テント、投光器などの避難退域時検査で使用する資機材を格納

イ 参加機関、使用機材

- (ア) 検査責任者及び補佐（鹿児島県）
使用機材・・・連絡用トランシーバー（I P無線機）、N a l（T l）サーベイメータ、個人線量計、防護帽子、マスク、防護手袋等
- (イ) 車両指定箇所検査チーム（鹿児島県等）
使用機材・・・車両用ゲート型モニタ、発電機、GMサーベイメータ、個人線量計、防護帽子、マスク、防護手袋等
- (ウ) 車両確認検査及び簡易除染チーム（陸上自衛隊、九州電力株式会社）
使用機材・・・GMサーベイメータ、個人線量計、防護帽子、マスク、防護手袋、ウエス等
- (エ) 住民指定箇所検査・確認検査チーム（鹿児島県等）
使用機材・・・GMサーベイメータ、N a l（T l）サーベイメータ、個人線量計、防護帽子、マスク、防護手袋等
- (オ) 住民簡易除染チーム（鹿児島県等）
使用機材・・・個人線量計、防護帽子、マスク、ウェットティッシュ、中性洗剤、ビニール袋等
- (カ) 警察
使用機材・・・警察車両、個人線量計等
- (キ) 資機材搬送訓練（（公社）鹿児島県トラック協会、鹿児島県）
使用機材・・・輸送車両、10ftコンテナ

(2) 安定ヨウ素剤配布訓練

ア 訓練内容

避難退域時検査場所及びいちき串木野市総合体育館（緊急配布場所）において、安定ヨウ素剤の配布等を行う。（※安定ヨウ素剤は確認用紙で代用）

また、原子力防災アプリ等を活用した安定ヨウ素剤の配布訓練を実施する。

(ア) 防災対策要員に対し、必要量の安定ヨウ素剤を配布する。

(イ) 避難退域時検査場所等へ安定ヨウ素剤（丸剤及びゼリー剤）を搬送する。

(ウ) P A Z内の住民に対し、避難時に事前配布した安定ヨウ素剤の携行及び服用指示の伝達を行い、また、安定ヨウ素剤の事前配布を受けていない住民に対し、各地区集合場所等で安定ヨウ素剤の緊急配布と服用の指示を行い、広報を行う。

(エ) U P Z内の住民に対し、避難退域時検査場所等において安定ヨウ素剤の服用の目的、効果、服用対象者、服用方法、副作用等について説明を行い安定ヨウ素剤を配布する。

イ 参加機関

鹿児島県、(公社)鹿児島県薬剤師会、薩摩川内市、いちき串木野市、阿久根市、鹿児島市、出水市、日置市、始良市、さつま町、長島町

(3) 被ばく傷病者対応訓練

ア 訓練内容

被ばく傷病者の発生を想定し、済生会川内病院及び鹿児島大学病院、川内市医師会立市民病院において、長崎大学及び長崎医療センター原子力災害医療派遣チームと連携した除染や治療等を実施する。

イ 参加機関

長崎大学、鹿児島大学病院、済生会川内病院、川内市医師会立市民病院、長崎医療センター、九州電力株式会社、薩摩川内市消防局、株式会社千代田テクノル、鹿児島県

8 住民等に対する広報訓練

1 目的

川内原子力発電所に関する各種情報や指示等について、関係機関が緊密に連携し、地域住民等に対し、正確な情報を迅速に提供することを目的として実施する。

2 参加機関

内閣府，国土交通省（九州地方整備局鹿児島国道事務所，九州地方整備局川内川河川事務所，九州運輸局鹿児島運輸支局），海上保安庁（第十管区海上保安本部，串木野海上保安部，鹿児島航空基地），J R九州鹿児島支社，肥薩おれんじ鉄道株式会社，N T T西日本鹿児島支社，鹿児島県無線漁業協同組合，川内市漁業協同組合，北さつま漁業協同組合，F Mさつませんだい，鹿児島シティエフエム，報道機関，薩摩川内市消防局，いちき串木野市消防本部，阿久根地区消防組合，鹿児島市消防局，出水市消防本部，日置市消防本部，始良市消防本部，さつま町消防本部，薩摩川内市消防団，いちき串木野市消防団，阿久根市消防団，鹿児島市消防団，出水市消防団，日置市消防団，始良市消防団，さつま町消防団，長島町消防団，鹿児島県警察本部（関係警察署を含む），薩摩川内市，いちき串木野市，阿久根市，鹿児島市，出水市，日置市，始良市，さつま町，長島町，鹿児島県，その他関係機関（大型商業施設，観光施設等）

3 訓練内容

（1）報道発表

県災害対策本部会議等各種会議において決定した事項，原子力緊急事態宣言の発出等について，報道機関に対し報道発表を行う。

また，原子力災害合同対策協議会等での決定事項等については，内閣府広報官がオフサイトセンター別館プレスルームにて，報道発表を行う。

（2）地域住民等への広報

市町広報車，消防車両，警察車両，海上保安庁巡視船，海上保安庁航空機，防災行政無線，コミュニティF M，大型商業施設，観光施設等での館内放送，緊急速報メール，原子力防災アプリ等により，発電所の事故の状況や災害対策本部で決定された事項等について，地域住民（訓練海域内の船舶，漁船等を含む），関係市町に一時滞在している観光客等に広報する。

（3）緊急事態応急対策実施区域及びその周辺地域の事業所への情報伝達訓練

川内原子力発電所の状況及び各種情報を，緊急事態応急対策実施区域及びその周辺地域の事業所へ提供する。

（4）J R九州，肥薩おれんじ鉄道等への情報伝達訓練

川内原子力発電所の状況及び各種情報を，J R九州鹿児島支社，肥薩おれんじ鉄道等へ提供する。

（5）避難所等への情報提供訓練

避難所，住民避難用バス等に原子力発電所の状況や住民避難に関する情報を提供する。

（6）災害用伝言ダイヤルの周知・広報

N T T西日本により，災害用伝言ダイヤル「1 7 1」を鹿児島県内で利用できるよう開放する。

また、避難所において災害用伝言ダイヤル「171」の周知、広報を行う。

(7) 県及び関係市町ホームページの開設・情報提供

県災害対策本部会議等各種会議において決定した事項、原子力緊急事態宣言の発出等について、県及び関係市町のホームページへ掲載する。

また、県エックス（旧ツイッター）等、SNSを活用した情報伝達を実施する。

(8) 外国語による広報

ア 英語による緊急速報メールの配信を行う。

イ 観光施設等において、外国語を用いた広報（館内放送、広報車、案内板等）を実施する。

ウ 県ホームページ、SNS等において外国語を用いた情報伝達を実施する。

9 避難・避難誘導，屋内退避訓練

1 目的

川内原子力発電所の緊急時における住民の避難，屋内退避を円滑に実施するため，関係機関が緊密に連携して住民広報，避難誘導等の訓練を実施する。

2 参加機関

陸上自衛隊，海上自衛隊（佐世保地方総監部，佐世保警備隊），海上保安庁（第十管区海上保安本部，串木野海上保安部），航空自衛隊（西部航空方面隊司令部，西部航空警戒管制団第9警戒隊，航空救難団春日ヘリコプター空輸隊），九州電力株式会社，お多麻さんの家，わかまつ園，鹿野苑，鹿児島自然学園，ときわの家，たらちね学園，榎山学園，ファミリーHP薩摩，川内市医師会立市民病院，済生会川内病院，川内なずな園，亀山苑，生福保育園，串木野保育園，出水高等学校，野田女子高等学校，出水工業高等学校，市来農芸高等学校，川内商工高等学校，串木野高等学校，太陽保育園，市来保育園，浜ヶ城保育園，阿久根市立西目小学校，高江こども園，水引こども園，ナーサリールームohana，すわこども園，（公社）鹿児島県バス協会，（一社）鹿児島県タクシー協会，薩摩川内市消防局，いちき串木野市消防本部，阿久根地区消防組合，鹿児島市消防局，出水市消防本部，日置市消防本部，始良市消防本部，さつま町消防本部，薩摩川内市消防団，いちき串木野市消防団，阿久根市消防団，鹿児島市消防団，出水市消防団，日置市消防団，始良市消防団，さつま町消防団，長島町消防団，鹿児島県警察本部（関係警察署含む），薩摩川内市，いちき串木野市，阿久根市，鹿児島市，出水市，日置市，始良市，さつま町，長島町，鹿児島県，その他関係機関

3 訓練内容

（1）避難，避難誘導訓練

川内原子力発電所を中心としておおむね5km圏内のPAZ，及びおおむね5km～30km圏のUPZのうち，一部の住民を対象として，避難を要する地区とし，避難，避難誘導訓練を実施する。

ア 実施場所

（ア）PAZ

a 要配慮者（社会福祉施設等）

施設名	避難先	人数	避難方法
お多麻さんの家	想定避難先	2 ^{*1}	九電福祉車両2台
わかまつ園	想定避難先	2 ^{*2}	薩摩川内市消防局車両1台
鹿野苑	想定避難先	5	施設車両1台
計		9	

※1 代役による訓練

※2 うち1名代役による訓練

- ・ 搬送車両等

九電福祉車両	・・・	2台
薩摩川内市消防局車両	・・・	1台
施設車両	・・・	1台

b 要配慮者（在宅等）

地区	一時集合場所	人数	避難方法
① 滄浪地区（自宅）	滄浪地区コミュニティセンター	1*	九電福祉車両 1 台
② 寄田地区（自宅）	寄田地区コミュニティセンター	1*	九電福祉車両 1 台
計		2	

※ 代役による訓練

- ・ 避難経路
 - ① 自宅 → 滄浪地区コミュニティセンター
 - ② 自宅 → 寄田地区コミュニティセンター
- ・ 搬送車両等
 - 九電福祉車両 …… 2 台

c 一般住民

地区	集合場所	避難先	人数	避難方法
① 滄浪地区	滄浪地区コミュニティセンター	総合体育センター 武道館	8	中型バス 2 台
② 寄田地区	寄田地区コミュニティセンター	宝山ホール	11	中型バス 2 台
上野集落	上野集会所	-	1*	九電福祉車両 1 台
池ノ段集落	池ノ段集会所	-	1*	自衛隊車両 1 台
③ 水引地区	水引地区コミュニティセンターほか	県立図書館本館	21	中型バス 3 台
④ 峰山地区	旧高江中学校	開陽高等学校体育館	20	中型バス 2 台 乗用車（レッカー） 3 台
計			62	

※ 代役による訓練

備考 原子力防災アプリ等を活用した一時集合場所での受付、仮QRコードの発行・配布を行う。

- ・ 避難経路
 - ① 滄浪地区コミュニティセンター → 県道43号 → 南九州道（高江IC～鹿児島IC）
→ 国道3号 → 国道225号 → 総合体育センター武道館
 - ② 寄田地区コミュニティセンター → 県道43号 → 土川集会所 → 国道3号
→ 南九州道（串木野IC～鹿児島IC） → 国道3号
→ 国道10号 → 宝山ホール
 - ③ } 水引地区コミュニティセンターほか
港地区総合体育館 → 県道338号 → 南九州道（水引IC～鹿児島IC）
→ 国道3号 → 国道10号 → 県立図書館本館
 - ④ 旧高江中学校 → 県道43号 → 南九州道（高江IC～鹿児島IC）
→ 指宿スカイライン（鹿児島IC～谷山IC） → 県道20号 → 開陽高等学校体育館

- ・ 避難車両等
 - 中型バス 9台
 - 九電福祉車両 1台
 - 自衛隊車両 1台
 - 乗用車 (ワゴン) 3台

(イ) U P Z

a 要配慮者 (社会福祉施設)

社会福祉施設	避難先	人数	避難方法
鹿児島自然学園 (鹿児島市)	たらちね学園	-	乗用車(九電支援車両) 1台
ときわの家 (鹿児島市)	榎山学園	-	乗用車(九電支援車両) 1台
計			

備考1 避難施設等調整システムによる避難先決定後の避難訓練

備考2 要員による訓練

- ・ 搬送車両等
 - 九電支援車両 2台

b 一般住民 (在宅要配慮者を含む)

《本シナリオ訓練》

川内原子力発電所、災害対策本部会議、オフサイトセンターと連動した事態の進展による訓練

(a) 薩摩川内市

地区	集合場所	避難先	人数	避難方法
① 市比野地区	市比野小学校	ふれあいかせだ	25	中型バス 2台 乗用車 (ワゴン) 3台
② 藤本地区	旧藤本小学校		19	中型バス 2台
③ 野下地区	旧野下小学校		9	中型バス 1台
計			53	

備考 原子力防災アプリ等を活用した一時集合場所での受付, 仮QRコードの発行・配布を行う。

- ・ 避難経路
 - ① 市比野小学校 → 県道36号 → 県道39号 → 南九州道 (串木野IC～市来IC) → 国道3号 → 国道270号 → 日置市吹上中央公民館 → 国道270号 → ふれあいかせだ
 - ② 旧藤本小学校 → 県道36号 → 市道藤本野下線 → 県道39号 → 南九州道 (串木野IC～市来IC) → 国道3号 → 国道270号 → 日置市吹上中央公民館 → 国道270号 → ふれあいかせだ
 - ③ 旧野下小学校 → 県道39号 → 南九州道 (串木野IC～市来IC) → 国道3号 → 国道270号 → 日置市吹上中央公民館 → 国道270号 → ふれあいかせだ

- ・ 搬送車両等
 - 中型バス 5 台
 - 乗用車 (レンタカー) 3 台

(b) 日置市

地域	集合場所	避難先	人数	避難方法
東市来地域	高山地区公民館ほか	ふれあいかせだ	51	大型バス 1 台 中型バス 1 台
伊集院地域	伊集院北小学校ほか		17	中型バス 1 台 福祉タクシー 1 台
日吉地域	住吉地区公民館ほか		15	中型バス 1 台 乗用車(九電支援車両) 1 台
計			83	

備考 原子力防災アプリ等を活用した一時集合場所での受付, 仮QRコードの発行・配布を行う。

- ・ 避難経路
 - 各集合場所 → 国道270号 → 日置市吹上中央公民館 → 国道270号
 - ふれあいかせだ
- ・ 搬送車両等
 - 大型バス 1 台
 - 中型バス 3 台
 - 九電支援車両 1 台
 - 福祉タクシー 1 台

《地域別訓練》

本シナリオ訓練とは、時間軸が一部異なる訓練

(c) 薩摩川内市

- ・ 実動機関との連携による避難支援訓練

地域	搬送先	人数	避難方法
上甕島	下甕分屯基地第2ヘリポート → マリンポートかごしま	10	航空自衛隊ヘリコプター
	長浜港 → 想定本土	14	海上保安庁巡視船
計		24	

(d) いちき串木野市

地区	集合場所	避難先	人数	避難方法
本浦地区	本浦交流センター	枕崎市妙見センター	21	中型バス 1 台
照島地区	照島交流センター	指宿市役所北側別館講堂	19	中型バス 1 台
計			40	

備考 原子力防災アプリ等を活用した一時集合場所での受付, 仮QRコードの発行・配布を行う。

(e) 阿久根市

地区	集合場所	避難先	人数	避難方法
脇本地区	脇本地区公民館	帖佐中学校	24	中型バス 2 台
	三笠中学校	長島町文化ホール	39	大型バス 2 台
計			63	

備考 原子力防災アプリ等を活用した一時集合場所での受付, 仮QRコードの発行・配布を行う。

(f) 鹿児島市

地区	集合場所	避難先	人数	避難方法
郡山地区	茄子田公民館ほか	郡山中央構造改善センター	58	中型バス 2 台 乗用車 (自家用車) 22 台

備考 原子力防災アプリ等を活用した一時集合場所での受付, 仮QRコードの発行・配布を行う。

(g) 出水市

地域	集合場所	避難先	人数	避難方法
出水地域	出水小学校	国分シビックセンター 多目的ホール	14	中型バス 1 台 乗用車 (九電支援車両) 1 台 福祉タクシー 1 台
西出水地域	高齢者ふれあいセンター		31	中型バス 2 台
計			45	

備考 原子力防災アプリ等を活用した一時集合場所での受付, 仮QRコードの発行・配布を行う。

(h) 日置市

- ・ 実動機関との連携による屋内退避施設からの急患搬送

地域	搬送先等 (想定)	人数	避難方法
日吉地域	・ 吹上中央公民館 (想定) → ヘリポート (日吉運動公園グランド) → 日置市外医療機関 (想定) ・ 他市町施設 (想定) → ヘリポート (日吉運動公園グランド) → 日置市内医療機関 (想定)	2	日置市消防本部救急車 県消防・防災ヘリコプター

(i) 始良市

地区	集合場所	避難先	人数	避難方法
松生地区	防災行政無線子局周辺	始良市高齢者福祉センター	2	乗用車 (九電支援車両) 1 台

備考 1 代役による訓練

備考 2 原子力防災アプリ等を活用した一時集合場所での受付, 仮QRコードの発行・配布を行う。

(j) さつま町

地区	集合場所	避難先	人数	避難方法
久富木地区	久富木地区公民館	西伊敷福祉館	10	中型バス 1 台 乗用車 (九電支援車両) 1 台

備考 原子力防災アプリ等を活用した一時集合場所での受付, 仮QRコードの発行・配布を行う。

(k) 長島町

地区	集合場所	避難先	人数	避難方法
下山門野地区	潟港	長島町文化ホール	30	町マイクロバス1台 乗用車（自家用車）3台
山門野地区	二本松グラウンド		20	町マイクロバス1台 乗用車（九電支援車両）1台
計			50	

備考 原子力防災アプリ等を活用した一時集合場所での受付, 仮QRコードの発行・配布を行う。

- ・ 実動機関との連携による避難支援訓練

地区	搬送先	人数	避難方法
田尻地区	瀬戸港 → 宮ノ浦漁港 → 長島町文化ホール	5	海上自衛隊艦艇 乗用車（公用車）2台

備考 代役による訓練

イ 地域住民等への連絡

- ・ 防災行政無線, コミュニティFM, 緊急速報メール, 原子力防災アプリ等による広報
- ・ 広報車, 消防車両, 警察車両等による広報
- ・ 大型商業施設, 観光施設等における広報
- ・ 避難対象地区への要員派遣
- ・ 発電所周辺を航海中又は停泊中の船舶及び海岸残留者等に対して, 海上保安庁巡視船艇による警戒海域の広報

ウ 参集

避難対象地区住民（自家用車（レンタカー）避難者は除く）は, 避難集合場所に集結し, 要員が住民の点呼を行う。

エ 避難所への搬送

- ・ 陸上自衛隊, 薩摩川内市消防局及び警察による避難残留者の確認
- ・ 自衛隊, 警察等による避難経路の道路損壊状況の調査
- ・ 避難経路の要所での警察官による交通誘導
- ・ 自主防災組織, 県警察及び陸上自衛隊と連携した避難誘導

オ 避難後の状況確認

防護対策実施区域内の状況確認

カ その他

避難対象地区（PAZ（寄田地区））における倒壊家屋からの救助訓練

(2) 屋内退避訓練

ア 事故の段階的進展に伴い、川内原子力発電所を中心としておおむね半径5～30km圏内の住民を対象として屋内退避（避難準備）訓練を実施する。

イ 地震による家屋崩壊などにより、家屋での屋内退避が困難となった場合を想定し、近隣の避難所で屋内退避を実施する。

市町	地区	実施場所	人数
薩摩川内市	朝陽地区	朝陽地区コミュニティセンター	30
	轟地区	轟地区コミュニティセンター	21
	藺牟田地区	藺牟田地区コミュニティセンター	11
いちき串木野市	羽島地区	羽島交流センター	20
		土川交流センター	11
阿久根市	脇本地区	脇本地区公民館	48
		三笠中学校	39
鹿児島市	郡山地区	茄子田公民館 ほか6か所	22
出水市	出水地区	出水小学校	14
	西出水地区	高齢者ふれあいセンター	31
日置市	東市来地区	高山地区公民館ほか6か所	51
	伊集院地区	伊集院北小学校ほか2か所	17
	日吉地区	住吉地区公民館ほか3か所	15
計			330

ウ 放射線防護対策を施した施設への屋内退避訓練を行うとともに、可動式防護壁の稼働訓練などを実施する。

(ア) 薩摩川内市

ファミリーHP 薩摩，星原集会所，旧滄浪小学校体育館，旧寄田小学校体育館，峰山地区コミュニティセンター，平島集会所，水引地区コミュニティセンター，川内市医師会立市民病院，済生会川内病院，川内なずな園，亀山苑，薩摩川内市総合防災センター

(イ) いちき串木野市

羽島交流センター，土川交流センター

エ 放射線防護対策を施した病院，社会福祉施設へ情報伝達を行う。

ファミリーHP 薩摩，川内市医師会立市民病院，済生会川内病院，川内なずな園，亀山苑

オ 地域住民等への連絡

- ・ 防災行政無線，コミュニティFM，緊急速報メール，原子力防災アプリ等による広報
- ・ 広報車，消防車両，警察車両等による広報

(3) 幼稚園, 保育園, 学校避難訓練等

学校等	訓練日	訓練内容
生福保育園 (いちき串木野市)	6月14日(水)	屋内退避訓練
串木野保育園 (いちき串木野市)	6月17日(土)	屋内退避訓練
出水高等学校 (出水市)	10月26日(木)	原子力防災に関する講義
野田女子高等学校 (出水市)	11月24日(金)	原子力防災に関する講義
出水工業高等学校 (出水市)	11月24日(金)	原子力防災に関する講義 保護者への引渡し訓練
市来農芸高等学校 (いちき串木野市)	11月30日(木)	原子力防災に関する講義
川内商工高等学校 (薩摩川内市)	12月1日(金)	原子力防災に関する講義
串木野高等学校 (いちき串木野市)	12月13日(水)	原子力防災に関する講義
太陽保育園 (いちき串木野市)	1月19日(金)	屋内退避訓練
市来保育園 (いちき串木野市)	2月9日(金)	屋内退避訓練
浜ヶ城保育園 (いちき串木野市)	2月9日(金)	屋内退避訓練
各公立幼稚園 各公立小・中・義務教育学校 (薩摩川内市)	2月9日(金)	薩摩川内市災害対策本部との情報連絡訓練
西目小学校 (阿久根市)	2月10日(土)	保護者への引渡し訓練
高江こども園 (薩摩川内市)	2月10日(土)	薩摩川内市災害対策本部との情報連絡訓練 保護者への引渡し訓練 児童の避難先(想定)への避難訓練
水引こども園 (薩摩川内市)	2月10日(土)	薩摩川内市災害対策本部との情報連絡訓練 保護者への引渡し訓練
ナーサリールームohana (薩摩川内市)	2月10日(土)	薩摩川内市災害対策本部との情報連絡訓練 保護者への引渡し訓練(模擬)
すわこども園 (薩摩川内市)	2月10日(土)	薩摩川内市災害対策本部との情報連絡訓練 保護者への引渡し訓練(模擬)